

# フォロワーシステムが目指す法改正後の未来 「支持者」であり続けることの意味とは？

自治体との連携による障害者・認知症高齢者等の意思決定支援モデル事業

Supported by  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

第3回

## 意思決定支援 実践シンポジウム

2025年2月23日(日・祝) 13:00~17:30 **無料**

2006年に国連で障害者の権利に関する条約が締結され、日本は2014年に批准しました。2022年8月には国連による日本政府に対する初回の審査が行われ、同年10月に成年後見制度などにおける代行決定への懸念が示されると同時に、支援付き意思決定の仕組みを確立するよう勧告がなされました。「良かれと思って」周囲の人が本人の代わりに決めるのではなく、本人の「心からの希望や選好・価値観」に基づき本人自身が意思決定をし、それを尊重できる社会を目指していくためには、これまでとは別の支援の枠組みを作っていく必要があります。

このような背景を踏まえ、一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク(通称:SDM-Japan)は、同月25日、豊田市及び日本財団と、障害者・認知症高齢者等の意思決定支援事業に関する連携協定を締結し、2024年2月23日には、同事業の実践を踏まえたシンポジウム(オンライン)を開催し、約450名の方に出席いただきました。

本事業は、障害者や認知症高齢者等で判断能力が十分ではないとされている人が、地域生活や社会参加を継続していくために自らの意思を形成、表明し、自分らしく生きていくための意思決定を支援する仕組みを構築・実践することを目指しています。

今回は、3年間に渡る本事業の成果及び民法・社会福祉法改正の動向を踏まえつつ、それぞれの地域課題に合わせて意思決定フォロワー及び支える仕組み(フォロワーシステム)を実装しようとしている地域の皆様をお招きし、シンポジウムを開催します。

**会場：オンライン開催 ※Zoom、YouTubeライブ配信による全国オンライン中継**

**対象：**成年後見制度や意思決定支援の動向に関心のある自治体、中核機関、社会福祉協議会、NPO/NGO職員、これらの活動に携わる専門職、障害のある当事者・団体、市民 等

**定員：**Zoom参加 300名、YouTube視聴 無制限

**参加費：**無料

**申込先：**① SDM-Japan 特設Webサイト(右記QRコード)

<https://sdm-japan.net/what-we-do/local-government-projects/symposium2024>

② E-mail [yorisoi@city.toyota.aichi.jp](mailto:yorisoi@city.toyota.aichi.jp)(豊田市よりそい支援課)



**締切：2025年2月19日(水)**

**プログラム：**裏面に記載

**主催：**一般社団法人 日本意思決定支援ネットワーク(SDM-Japan)

**共催：**豊田市、日本財団



【問い合わせ】

①申込方法…豊田市よりそい支援課

Mail:[yorisoi@city.toyota.aichi.jp](mailto:yorisoi@city.toyota.aichi.jp) TEL:0565-34-6791

②プログラム内容…日本意思決定支援ネットワーク(SDM-Japan)

Mail:[info@sdm-japan.net](mailto:info@sdm-japan.net) TEL:050-5534-4004

プログラム ※タイトル・時間配分・登壇者(敬称略)については変更の可能性があります。

13:00~13:15(15分) 開会

開会あいさつ・趣旨説明

名川 勝 (一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク(SDM-Japan)代表)  
「豊田市・SDM-Japan・日本財団が目指す意思決定支援の形とは？」  
世古口 佳 (日本財団公益事業部)  
「日本財団における意思決定支援への取組み」

【第一部】 持続可能な権利擁護支援モデルのゆくえ  
～意思決定支援モデルプロジェクトの成果を踏まえた社会福祉法制の改革とは～

13:15~13:55(40分)

基調報告

山野目 章夫 (早稲田大学大学院法務研究科教授)  
「地域社会福祉と民事法制との一体的な改革について」

13:55~15:25(90分)

意思決定支援モデルプロジェクト(豊田市地域生活意思決定支援モデル事業)について

1)事業成果報告(30分)

- 1:モデルプロジェクトの全体像  
水島 俊彦 (SDM-Japan副代表)
- 2:豊田市における実施ケースの概要  
畠中 尚範 (豊田市よりそい支援課総合調整担当)

2)それぞれの視点からの事業評価(60分)

コーディネーター  
名川 勝 (SDM-Japan代表)  
コメンテーター  
大地 裕介 (豊田市社会福祉協議会くらし応援副課長/豊田市成年後見センター長)  
木本 光宣 (特定非営利活動法人ユートピア若宮理事長)  
永田 祐 (同志社大学社会学部教授)  
枡方 瑞恵 (日本財団公益事業部)  
森地 徹 (SDM-Japan 事務局長・評価WG委員長)  
山野目 章夫 (早稲田大学大学院法務研究科教授)

15:25~15:40(15分)

休憩/第一部アンケート

【第二部】 フォロワーシステムが目指す法改正後の未来

15:40~15:50(10分)

フォロワーシステムの開発と提案

水島 俊彦 (SDM-Japan副代表)

15:50~17:20(90分)

パネルディスカッション

～フォロワーが「支持者」であり続けること、市民がフォロワーとなることの意義とは？～

1. 趣旨説明・映像で見るフォロワー活動の実際

水島 俊彦 (SDM-Japan副代表)

2. ディスカッション

コーディネーター

永田 祐 (同志社大学社会学部教授)

パネリスト(50音順)

大地 裕介 (豊田市社会福祉協議会くらし応援副課長/豊田市成年後見センター長)  
木本 光宣 (特定非営利活動法人ユートピア若宮 理事長)  
立花 さおり (津別町社会福祉協議会地域福祉係係長/津別町あんしん生活サポートセンターほっと)  
名川 勝 (SDM-Japan 代表)  
牧野 郁子 (鶴ヶ島市社会福祉協議会主幹/鶴ヶ島市権利擁護支援センター )  
枡方 瑞恵 (日本財団公益事業部)



前回のパネルディスカッションの様子

17:20~17:25(5分)

閉会のあいさつ

17:25~17:30(5分)

第二部アンケート/事務連絡

17:30 閉会